

1 法人について

平成 29 年度(2017)の世界情勢は、大国の自国第一主義がますます加速し、人種、民族、宗教等の分断によってもたらされた憎しみの連鎖による争いが絶えない状況となるなど、一層混乱が深まった。また、国内においては、2050 年代には人口が 1 億人を割り込むといわれ、人口減少と併せて生産年齢人口の減少による労働人材不足が、大きな社会問題となっている。これは、全産業に当てはまることであるが、とりわけ福祉サービス等の労働集約型の産業においては、需要の高まりと相まって、ますます深刻な問題となっていくと考えられる。当法人においても人的資源の確保のため、職員の定着と人材育成対策が重要な課題であり、職場環境や労働条件の整備が必要不可欠である。

当法人は、敗戦後の混乱時代である昭和 23 年(1948)に、有志の民間人らが相寄って発足させ、平成 30 年度(2018)には創設 70 年という節目を迎えようとしている。昭和 27 年(1952)に社会福祉法人の認可を受けた当法人は、今日まで一貫して、多様化する地域ニーズに応えるよう、積極的に新分野に踏み込み、福祉行政当局との密接な連帯のもとで、覚悟と使命感を持ち続けてきた。同族性を有しない当法人の性格も、そのような意識の徹底と表裏をなすものであり、今後想定される様々な課題に対して持ち得る知恵を結集し、力強く乗り越えていきたい。加えて本年度は、社会福祉法人制度の改正に伴い、平成 16 年度(2004)より依頼してきた監査法人と、会計監査人という形で監査契約を締結し、財務基盤の強化を図った。

(1) 人材確保

少子化に伴い、全国的に福祉分野における新卒学生の採用が年々困難になってきている。このような状況から国は、平成 28 年(2016)11 月に外国人技能実習適正化法と、出入国管理・難民認定法の改正法を成立させ、技能実習に関する法令が公布され、平成 29 年(2017)11 月 1 日には、制度の対象職種に介護職種が正式追加された。当法人もこの制度の動向に着目、研究を重ね、外国人実習生の受け入れのために、昨年 11 月には法人職員がベトナムの関係機関を訪れ、介護実習を希望する人材の面談を行なった。

(2) 職員処遇の向上

国は、一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指した「働き方改革」を進めている。当法人も、職員の個々の事情に応じた多様な働き方を選択できるよう、育児休業期間や、育児短時間勤務期間の延長等、就業規則等の改正を進めた。また、衛生委員会では、残業の要因調査や、年次有給休暇の積極的な取得に関する検討を行ない、少しずつではあるが職員の意識改革が進んでいる。さらに、給与面では、職員の意欲の向上と処遇の改善を図るため、給与改定作業チームを編成し、平成 31 年度(2019)施行を目途とした改定作業に着手した。

(3) 職場環境の改善

昨年度に引き続き「こころの健康相談室」を月 2 回開設して、職員が受けるストレスの予防や軽減のための取り組みを実施するとともに、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを行ない、結果を今後のそれぞれの職場環境改善に活かすことができた。ハード面では、友生保育

園、予野保育園、長田保育園の職員トイレ洋式化等改修工事を施工し、職場環境の改善を図ったほか、6か所の保育園にノート型パソコンを設置し、事務作業の効率化を図った。

(4) 利用者の権利擁護

虐待防止を考える委員会を中心として、法人内の各施設における虐待や身体拘束の防止、早期発見、早期対応等の体制の見直しや、外部講師による全法人職員を対象とした研修会の開催、虐待防止マニュアルの作成を進めた。

(5) 情報公開、情報発信

本年度も保育園(花之木・古山・ゆめが丘)及び特別養護老人ホーム第二梨ノ木園の第三者評価の受審や、財務諸表の完全公開を進めた。また、スマートフォンによる情報収集が主流となってきたため、当法人の職員採用ホームページをスマートフォンに対応するよう全面改修し、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を活用した採用活動を開始した。併せて、昨年引き続き各施設のさまざまなお知らせ情報をホームページに掲載し、積極的に更新した。

(6) 公益的事業

高齢者を対象とした「買い物バス運行事業」は、引き続き定期運行を実施し、地域の高齢者の生活の一手段となっている。また、梨ノ木診療所で実施している、長田地区住民を対象とした「なしのき健康講座」も、引き続き毎週月曜日に開催した。各保育園では、自主事業として子育て支援事業を実施し、未就園児の遊び場の提供や、保護者の子育てに関する悩み等様々な相談を受けた。更に、伊賀市社会福祉法人連絡会に参画し、伊賀市全域における公益的な活動に貢献した。

(7) 府中保育園移転改築事業について

府中保育園移転改築事業に伴う新園舎の建設工事は、平成30年(2018)1月11日に完成した。本事業は伊賀市立佐那具保育所と府中保育園を統合して、旧府中小学校跡地に移転改築し、昭和50年(1975)建設の旧府中保育園舎を解体するという2か年事業である。本年1月13日には竣工式及び内覧会を開催し、同22日より新園舎での保育を開始した。旧園舎の解体は3月30日に全て終わり、本事業は無事完了した。また、平成30年度(2018)実施に向けた、当法人初の取り組みである完全給食の試行期間として、約2か月間幼児への主食提供を無料で行なった。

設計監理受託業者 株式会社阿波設計事務所 三重支店
津市一志町波瀬 6588 番地の2

業務着手日 平成28年8月2日

業務完了日 平成30年3月30日

契約金額 15,984,000円 (消費税込み)

工事受託業者 株式会社福田豊工務店
伊賀市上野茅町 2722 番地の6

工事着手日 平成29年1月24日

工事完了日 平成30年3月30日

契約金額 459,965,520円 (消費税込み)

(8) 理事会の開催

回数	開催日	出席者数	議決・同意事項
第1回	平成29年 5月26日(金)	12名	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に係る事業報告について 平成28年度に係る計算書類及び財産目録について 定款細則の制定について 経理規程の一部改正について 第三者委員の選任について 定時評議員会の招集について
第2回	6月16日(金)	10名	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選定について 会計監査人の報酬等について 顧問等の委嘱について 役員等の費用弁償に関する規程の制定について 第三者委員の選任について 定款細則の一部改正について
第3回	9月19日(火)	9名	<ul style="list-style-type: none"> 新理事候補者の推薦について 評議員会の招集について
第4回	9月25日(月)	11名	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選定について 施設長人事について
第5回	11月29日(水)	10名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度補正予算(第1号)について 会長職の委嘱について 定款の変更について 諸規程の変更について 評議員選任・解任委員の選任について 評議員会の招集について
第6回	2月8日(木)	12名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度補正予算(第2号)について 学童保育事業の受諾について
第7回	3月19日(月)	12名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業目標について 平成30年度資金収支予算について 常務理事の選任について 主要人事について

(9) 評議員会の開催

回数	開催日	出席者数	議決・同意事項
第1回	平成29年 6月16日(金)	12名	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に係る計算書類及び財産目録の承認について 定款の変更について 理事、監事及び会計監査人の選任について 役員等報酬規程の制定について 顧問等報酬規程の制定について
第2回	9月25日(月)	12名	<ul style="list-style-type: none"> 新理事の選任について
第3回	12月7日(木)	12名	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更について 役員等報酬規程の変更について

(10) 監事業務

開催日	出席者数	内 容
平成 29 年 5 月 22 日(月)	3 名	事業監査、会計監査
8 月 23 日(水)	3 名	会計監査人との意見交換会
その他		全ての理事会及び評議員会に出席

(11) 法人内研修

月 日	研 修 テ ー マ	講 師
平成 29 年 4 月 22 日(土)	世界史を学ぶことで見えるこれからの 社会情勢	ライフネット生命(株) 代表取締役会長兼 CEO 出 口 治 明 氏
7 月 5 日(水)	地殻変動する世界・地盤沈下する日本・ われわれの暮らしは？ -「老後破産」「ふるさと消滅」を乗り越えて 若年層の復活を目指せ-	東洋大学 名誉教授 阿 部 照 男 氏
8 月 24 日(木)	乳がんセミナー ～「あなた」と「大切な方」のために～	三井住友海上あいおい生命保険(株) 高 橋 し の ぶ 氏

2 保育園について

(1) 委託児童数

	0 歳児			1 歳児			2 歳児			3 歳児			4 歳児			5 歳児			合計		
	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計
曙	0	107	107	57	222	279	58	327	385	74	401	475	109	373	482	77	425	502	375	1855	2230
睦	18	56	74	25	116	141	67	164	231	78	152	230	58	262	320	108	132	240	354	882	1236
三田	9	9	18	34	23	57	132	84	216	41	40	81	115	53	168	36	96	132	367	305	672
中瀬城東	14	66	80	24	187	211	19	245	264	162	150	312	92	215	307	115	239	354	426	1102	1528
友生	12	29	41	36	84	120	38	34	72	81	87	168	24	108	132	59	123	182	250	465	715
花之木	1	47	48	10	69	79	44	52	96	31	98	129	37	84	121	34	60	94	157	410	567
予野	0	2	2	12	41	53	12	12	24	21	24	45	31	53	84	10	83	93	86	215	301
長田	17	53	70	32	18	50	18	64	82	37	35	72	72	108	180	58	50	108	234	328	562
古山	11	10	21	12	33	45	24	24	48	24	24	48	72	12	84	12	24	36	155	127	282
みどり	6	98	104	49	180	229	102	202	304	97	305	402	203	229	432	129	371	500	586	1385	1971
ひかり	12	24	36	69	118	187	50	138	188	93	231	324	95	243	338	102	129	231	421	883	1304
みどり第二	8	58	66	7	157	164	48	147	195	116	172	288	94	189	283	35	234	269	308	957	1265
府中	23	58	81	12	60	72	57	81	138	158	77	235	87	165	252	93	209	302	430	650	1080
ゆめが丘	0	102	102	29	245	274	50	208	258	152	256	408	97	431	528	166	391	557	494	1633	2127
合計	131	719	850	408	1553	1961	719	1782	2501	1165	2052	3217	1186	2525	3711	1034	2566	3600	4643	11197	15840
月平均	11	60	71	34	129	163	60	149	208	97	171	268	99	210	309	86	214	300	387	933	1320
摘要	充足率 90.5%																				

(2) 保育事業充実のための諸活動

子どもたちの心身の発達と成長がより豊かで調和のとれたものになるよう、養護と教育とを一体にした安心安全な発達環境づくりを進め、乳幼児の成長発達を保障する保育内容の充実を図った。更に、保護者の子育てと就労の両立支援のため、低年齢児保育推進事業・延長保育事業・家庭支援推進保育事業・障がい児保育事業・地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業・休日保育事業・放課後児童健全育成事業等々に取り組み、様々な保育サービスを実施し、子育て家庭に対する支援対策を一層強力に推進するよう努めた。

ア 一時預かり・休日保育事業

保護者の育児に対する心理的・身体的負担の軽減や、外国籍の児童の受け入れ及び保護者の休日就労等の支援を積極的に進めた。

【一時預かり事業】

園名	年間利用人数	園名	年間利用人数
曙保育園“ピッコロ”	1,299名	みどり第二保育園“きらら”	314名
花之木保育園	240名	古山保育園	39名
長田保育園	105名	三田保育園	112名

【休日保育事業】

園名	開設日数	年間利用人数
曙保育園“ハミング”	67日	668名

イ 延長保育事業

曙保育園・睦保育園・中瀬城東保育園・みどり保育園・ひかり保育園・みどり第二保育園・府中保育園・ゆめが丘保育所の8保育園(所)において実施し、保護者の就労と子育て支援の強化を推進した。

ウ 地域子育て支援拠点事業

支援センター名	開設日数	登録世帯数	年間利用人数
地域子育て支援センター“すくすくらんど”	245日	246世帯	3,277名

他の13保育園においてもミニ子育て支援事業として地域の子育て支援に取り組んでいる。職員は、保護者支援、相談援助や児童虐待に関する研修会等々に参加し、当面する子育て相談や虐待防止への対応等に努めた。

エ 障がい児保育事業

心身障害児療育保育施設かしのみ園では、伊賀市子ども発達支援センターとの連携を密にすると共に、医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関による指導・援助を受けながら、個別的・集中的療育と、交流保育・統合保育との有機的連携を基本とする当法人独自の療育保育を一層充実させるよう努めた。また、職員の療育保育の知識や技術の向上を目的とした研究会・勉強会を開催した。更に保護者を対象とする「ふれあい教室」の講演会、輪読会、レクリエーション等の事業内容の充実を図った。また、卒園児保護者、学生、民生児童委員等のボランティアを積極的に受け入れ、地域との交流を促進したほか、“ふれあいらんど”では、発達について気になる子、子育てに悩んでいる保護者等への相談や指導・援助を行なった。

【ふれあいらんど】

登録者数	11名	1か月平均利用者数	3名
------	-----	-----------	----

オ 障がい児通所支援事業

【ヴェルデ】

小学生を対象に実施している障がい児日中一時支援事業所“ヴェルデ”は、障がい児の日中における活動の場を確保し、保護者の就労支援及び介護の負担軽減を図った。

登録児童数	57名(1～6年生)	1日平均利用児数	14名
-------	------------	----------	-----

【ヴェルデ ドゥ】

放課後等デイサービス事業所“ヴェルデ ドゥ”は、放課後において障がい児が、日常生活における基本的動作及び集団行動に適応できるよう、また、生活能力を向上させ社会との交流が図れるように一人ひとりの成長発達に合わせた支援及び訓練を行なった。

登録児童数	34名(1～6年生)	1日平均利用児数	4名
-------	------------	----------	----

カ 放課後児童健全育成事業

保護者が昼間就労等により家庭にいない小学校児童の放課後における生活の場を提供し、児童の健全な育成支援に努めた。“風の丘”“第2風の丘”では、通常利用時、午後7時まで開所時間を延長し、“キッズうえの”では、長期休暇中は午前7時30分から開所し、また、土曜日利用の受け入れも行ない、そのニーズに応えた。更に全ての児童クラブで、長期休暇中には10時間開所を実施し、また、校区外の利用も受け入れ、地域のニーズにきめ細かく応えるように努めた。

また、昨年度に続き、ゆめドームうえのにおいて、児童クラブ8施設合同の交流事業を実施した。

【1日平均利用人数】

所轄施設	施設名	人数	所轄施設	施設名	人数
曙保育園	キッズうえの	27名	みどり第二保育園	フレンズうえの	25名
	ふたば	48名		第2フレンズうえの	34名
花之木保育園	成和西	11名	ゆめが丘保育所	風の丘	42名
古山保育園	成和東	14名		第2風の丘	34名

キ からだそだて事業

平成27年度から伊賀市内の全保育所（園）で実施し、3年が経過した。継続して実施することで、少しずつではあるが、“体を動かす習慣が身に付く”“活動に対する意欲が増してくる”等、成果が見られてきたと考える。子どもたちの体力・運動能力が向上し、生涯にわたって心身ともに健康的に生きるための基盤を培う保育を全保育園で検討し、今後も継続して実践していきたい。

ク 食育の推進

1日の生活時間の大半を過ごす保育園における食育の推進は非常に大切である。そこで、各園では、食育計画を作成し、生活や遊びの中で、身近な大人からの援助を受けながら、また、仲間と関わりながら、栽培活動やクッキング等を行なった。そして、これらの体験を通して、食への関心を育み「食を営む力」の基礎を培う食育を実践した。

ケ 世代間交流事業

世代間の交流を深めると共に、様々な体験を楽しむことができた。

- ・老人ホーム訪問、地域のお年寄りとの菜園活動、クッキング、伝承遊び等
- ・上野高校音楽選択生徒による音楽交流活動
- ・伊賀白鳳高校の異年齢児交流事業「花植え体験」「サツマイモ栽培、芋ほり体験」他

コ 第32回子どもフェスティバル

当法人の保育園の活動内容を保護者や地域の人々に、更に理解していただく機会とするため、毎年14保育園合同で、県立ゆめドームうえのにおいて開催している。

＜本年度のテーマ＞ 「ようこそ おはなしのくにへ」

＜内容＞

- ・「子どもたちがよく知っている絵本を題材にした遊び」コーナー
- ・3、4、5歳児の絵画展示
- ・保育士企画のコンサート「楽しい音楽会」
- ・児童クラブコーナー(児童の作品展示、児童の手作り玩具を使つての遊びコーナー)
- ・その他(保健、食育、赤ちゃんコーナー)

＜来場者数＞ 約2,400名

参加した子どもたちは、年齢に応じてあそびを楽しみ、また、保護者は、子どもの成長を確かめ子どもへの理解が深まった。

サ 読書活動支援事業

子どもにとって生きる力を身につけていくうえで欠くことのできない読書活動を、曙保育園の本とおもちゃルーム“ぐるんぱ”が中心となり推進した。絵本ボランティアグループ“もこもこ”による読み聞かせ活動は、年間148回を超えた。

シ 安全対策の充実

- ・頻発する直下型地震や、近い将来、発生が予想される南海トラフ巨大地震、異常気象による自然災害等に対応するため、また、各施設の地域・地形等により起こりうる災害に対応できるよう、防災計画や施設危機管理マニュアル、備蓄品等の見直しを行ない、児童の生命の安全を最優先とする安全防災体制の一層の充実を図った。
- ・不審者の侵入等から子どもの安全を守るため、防犯訓練を継続して実施した。
- ・遊具の安全確保については、専門技術者による点検(年1回)を依頼した。日常点検は、「施設安全チェック表」を見直し、全職員が確実に実施できるようにした。
- ・安心安全な食事の提供、食物アレルギー児への対応、食中毒やインフルエンザ等感染症の防止については、関係機関と連携の上、安全対策について慎重に対応し、あらゆる子どもの健康管理の一層の充実を図った。

ス 業務効率化推進事業

平成28年度より保育支援システムを導入し、保育士の業務負担軽減を目指して、書類作成業務についてのICT化を進めている。保育支援システムを活用することでの指導計画や園児台帳の作成等における成果や課題を検証しながら、膨大な事務作業を効率化していく。

＜導入施設＞ 曙保育園、中瀬城東保育園、みどり保育園、ゆめが丘保育所

セ みえ福祉第三者評価の受審

職場での自己評価、第三者評価機関による訪問調査等を通して、保育園運営に対する気づ

き、課題、改善点等を職員間で共有でき、今後の保育園運営や職員の資質向上に大いに役立ったと考える。

<受審施設> 花之木保育園、古山保育園、ゆめが丘保育所

(3) 職員の研修状況

保育園研修組織では、子どもへの視点を中心におき、保育の質と力量を磨き、自ら考え、保育に資することのできる幅広い知識と教養を身につけられるよう資質向上に努めた。併せて法人内研修に参加する等、広く社会経済情勢にも視野を広げ、当法人にふさわしい内部研修体制を積極的・能動的に機能させ、職員の人材育成に努めた。

ア 職員の研修体制及び各種委員会

- ・ 保育園長会 ・ リーダー研修会 ・ 新任研修会 ・ 人権同和保育研究会
- ・ 障がい児療育保育研究会 ・ 保健衛生感染症対策研究会
- ・ 施設安全推進委員会 ・ 子どもフェスティバル推進委員会

イ 研修組織わかば会

全保育関係職員を対象とした研修組織わかば会では、“子どもにとっての最善の利益を実現する”という原点に立って、研修を深めた。子どもたち一人ひとりの人権を尊重し、乳幼児の発達を保障する保育を行なうため、法人内での公開保育を実施したり、年齢別研究テーマに基づき、実践事例に学びながら、より質の高い保育を目指して検討した。また、給食部会では、子どもの健やかな成長のために、安心・安全な食事を提供できるよう、特に離乳食や食物アレルギー等に関しては、子どもの発達特性を知り、一人ひとりに応じて個別対応ができるよう、知識や技術を身に付けた。また、食中毒防止のための衛生管理の知識を日常業務に活かすようにした。更に食育にも積極的に取り組み、日本の食文化の継承について関心が高まるよう、保護者への啓発にも努めた。

ウ 職員の資質向上のための研修会参加内容

研 修 会 名	開催月日	参加人数
三重県保育士協会研修会	4月30日 他4件	53名
三重県社会福祉協議会 業種別研修会	5月23日	5名
三重県保育総合研修会	5月28日	12名
三重県社会福祉協議会 課題別研修会	6月6日 他1回	4名
三重県人権教育研究協議会 2017年度人権保育専門講座	6月15日 他8回	16名
上野同和教育研究協議会 研修会	6月2日 他3件	59名
三重県社会福祉協議会 生涯研修課程「新任・中堅・指導的・キャリアパス」	6月13日 他12件	29名
上野同和教育研究協議会研修会 就学前部会研修会(年4回)	6月28日 他3回	16名
全国私立保育園研究大会京都大会	6月7日～8日	5名
伊賀市保育所(園)連絡協議会 研修会(年3回)	6月21日 他2回	15名
伊賀市解放保育研究協議会 研修会(講演会、語ろう会)	7月1日 他3件	189名
伊賀市放課後児童クラブ指導員人権研修会	7月11日	30名
東海北陸保育研究大会三重大会	7月13日～14日	8名
三重県相談支援従事者初任者研修	7月19日～20日	1名
三重県人権教育研究協議会 豊かな就学前人権教育実践交流会	7月22日	9名

みえ福祉第三者評価自己評価リーダー研修会	8月2日	3名
伊賀市からだそだて事業 職員研修会	8月4日	75名
三重県人権教育研究協議会 所長(園長)研修会	9月1日	9名
三重県保育士協会 伊賀ブロック研修会	9月2日	17名
障がい児保育・障がい者支援関係研修 三重県小児保健学会他	9月10日 他14件	22名
調理関係研修 給食施設従事者研修会他	9月6日他2件	16名
平成29年度放課後児童支援員認定資格研修 (4回連続)	9月10日 他3回	6名
三重県社会福祉協議会 新任職員元気アップ研修(2回連続)	9月20日 他1回	2名
三重県社会福祉協議会 公開保育	10月13日 他3件	4名
三重県人権・同和教育研究協議会研究大会	10月14日～15日	24名
三重県サービス管理責任者等研修会	11月2日他2回	1名
平成29年度伊賀市保育所(園)長対象研修会(3回連続)	11月10日他2回	16名
東海北陸ブロック保育士セミナー	11月10日	10名
保健衛生関係研修 ノロウイルス予防対策研修会他	11月13日他3件	9名
全国保育研究大会神戸大会	11月15日～17日	2名
虐待防止を考える研修会	11月16日	75名
人権を考える市民の集い	12月3日	18名
三重県社会福祉協議会 経営者・管理者マネジメント研修	12月18日	16名
平成29年度伊賀市保育所(園)主任対象研修会(2回連続)	12月21日他1回	16名
普通救命講習会	1月16日 他1件	25名
三重県社会福祉協議会 自主企画研修会	1月28日	2名
三重県私立保育連盟研修会(中堅・運営実務)	1月30日 他1件	11名
その他	14件	64名
計	100件	894名

(4) 職場実習研修の受け入れ状況

中学生・高校生らが自らの将来や進路を考えるための福祉体験やインターンシップ事業、更には伊賀白鳳高校が実施している伊賀版デュアルシステム(高校生が長期間にわたり企業での実地訓練<OJT>を行ない、教育と職業訓練を同時に実施する体制)の受け入れ等を行なった。更に、保育士を目指す大学生のための保育実習、その他小児看護学、栄養調理実習等を積極的に受け入れた。

【職場実習研修受け入れ状況】

中学生職場体験	117名	高校生インターンシップ	54名
伊賀版デュアルシステム	90名	大学生保育実習	140名
小児看護学実習	180名	大学生栄養調理実習	5名

3 老人ホームについて

老人関係施設は、地域における老人福祉の中核としての役割を担っている。特別養護老人ホー

ム第二梨ノ木園を母体としてショートステイ、老人デイサービスセンター、在宅介護支援センター等を併設し、利用者と家族双方の福祉の向上を目指しつつ、在宅生活を支える事業を本年度も展開した。

特別養護老人ホームの稼働状況は、年間平均 93.7%、併設しているショートステイ事業は、84.5%と共に前年度より減少している。減少理由は、高齢による体調の変化等での入院が要因と考えられる。

居宅サービス関係分野である老人デイサービスセンターは、日曜日の開所も定着し、1日平均 20.9 名の方にご利用いただいた。

在宅介護支援センターでは、介護支援専門員 3 名により、月平均 78 名の方々のケアプランを作成し、在宅での生活の支援を行なった。

盲養護老人ホームでは、併設する訪問介護事業所なしのきと連携し、生活支援・介護・看護の一体的運用により、利用者が安らかに、かつ、生きがいのある生活が送れるよう、個々の状況に応じた専門的援助を提供することができた。訪問介護事業所なしのきは、施設利用者への介護サービスだけでなく、少数ではあるが地域の方々にケアプランに即した介護サービスを提供することができた。

安全対策を充実させるため、共同防火管理協議会では、火災、震災、その他の災害予防及び人命の安全並びに被害の軽減・防止のための対策会議を月 1 回開催し、対策等を検討した。総合防災対策強化事業では、地域消防団との合同避難訓練を実施した。また、近い将来に発生が予想される巨大地震や、土砂災害、火災等を想定し、利用者を含めた避難訓練を毎月実施した。備蓄品等についても、更なる充実に努めた。

各施設に災害対策として、火災通報連動工事を行ない、自動火災報知設備と火災通報装置を連動させ、火災信号により自動で 119 番に通報することが出来るよう安全対策を講じた。

激しく変動する福祉情勢の中で、老人関係施設は、利用者の要求、要望、プライバシー等を尊重しつつ、健康で文化的な生活環境の整備充実に努めると共に、人間としての尊厳を大切にやさしくあたたかい良質な福祉サービスの提供を基本理念とした事業を展開した。加えて、今日の福祉ニーズを把握し、かつ福祉の原点と理念を守ることができる老人福祉施設職員としての資質向上のため、幅広い分野における外部研修の受講、法人内における職員研修の充実強化に努めた。

<盲養護老人ホーム梨ノ木園>

(1)利用者の状況

ア 入退所者数

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

区 分	利用者数	入所者数	退所者数
人 数	68 名(定員 70 名)	8 名	8 名

イ 年齢構成

以上 ～ 未満	65 歳 ～ 70 歳	70 歳 ～ 75 歳	75 歳 ～ 80 歳	80 歳 ～ 85 歳	85 歳 ～ 90 歳	90 歳 ～	計	平均 年齢	
男	1	3	4	6	5	4	1	24 名	78.5 歳
女	0	1	5	6	7	12	13	44 名	85.0 歳
計	1	4	9	12	12	16	14	68 名	82.7 歳

ウ 視覚に障がいのある利用者数

身障手帳による等級	1級	2級	3級	4級	5級	療育手帳	なし	計
利用者数	45	9	4	2	2	1	5	68名

(2)ヘルパー利用者数 月平均 14.2人

(3)施設、整備の改善

- ・火災通報装置の更新及び火災通報連動工事を行ない非常事態に備えた。

(4)施設機能の強化と個別ケアの充実

- ・家族との協力関係の緊密化を図った。
- ・ボランティアと協働し、次の各クラブ事業等を実施した。
詩吟・俳句・民謡・生花・書道等各クラブの指導
上野点字図書館朗読ボランティアによる読書会
語り部塾生による民話語りの会
- ・福祉教育への協力と人材確保に向けた実習受け入れ及び地域交流を促進した。

(交流事業)

実施内容	実施月日	人員
「花まつり」にちなんで西蓮寺住職による法要と法話	4月10日	1名来園
黒住教上野中教会草引き奉仕	5月14日	16名来園
岡波看護専門学校3年生の施設実習	6月5日 ～6月9日 5日間	9名実習
岡波看護専門学校3年生の施設実習	6月12日 ～6月16日 5日間	8名実習
大和幸司様 歌謡ショー	6月22日	4名来園
長田小学校1・2年生との交流会	7月7日	14名来園
長田保育園児との交流会	7月18日	24名来園
伊賀市上野仏教会の方々による盂蘭盆法要	8月25日	8名来園
三田コーラスグループによる音楽交流	9月24日	13名来園
長田小学校運動会の応援	9月30日	4名参加
長田小学校4年生との交流会	10月12日	10名来園
長田地区体育祭の応援	10月15日	3名参加
長田見守り協力員施設見学	10月20日	15名来園
長田保育園児との交流会（保育園への訪問）	10月24日	4名参加
シルバー人材センターの方々による窓拭き奉仕	10月29日	6名来園
第11回伊賀市障がい者スポーツ大会	11月11日	7名参加
岡山市高島学区民生委員児童委員施設見学	11月14日	19名来園
松阪市徳和地区住民協議会施設見学	11月15日	26名来園

よっといで祭りへの作品展示（俳句、書道）	11月19日	10名参加
伊賀市更生保護女性の会上野支部による窓拭き奉仕	12月2日	23名来園
津保護観察所社会貢献活動受け入れ	2月23日	7名来園
伊賀市上野仏教会の方々による彼岸法要	3月30日	8名来園
計	22件	239名

(5) 職員の資質向上

老人福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会のほか、梨ノ木職員研修会や施設外の研修会に積極的に参加した。

(梨ノ木職員研修)

研 修 テ ー マ	開 催 月 日
新任職員研修	4月12日
身体にかかる圧の影響と対策(実技演習) スライディングボードを用いた移乗方法・背抜きの方法	7月28日
各施設の権利擁護委員会における取り組み	9月22日
人権研修 「市民の人権意識と差別事件の現状について」 ～私たちは差別の現実から何を学ぶのか～	12月8日
各施設の取り組み発表 〈梨ノ木園〉 保育園の子どもたちとご利用者による共同制作の取り組み 〈第二梨ノ木園〉 総合記録シート「絆」導入後の効果 ～現場の声を聞いて～ 〈老人デイサービスセンターなしのき〉 機能訓練 ～在宅におけるADL・QOLの向上に向けて～ 〈梨丘園〉 4S ～脱衣場の美しさは心の美しさ～	3月9日

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
上野商工会議所 新規学卒就職者激励会&セミナー	4月18日 他1回	1名
三重県 「職場体験受入事業所指導担当職員研修会」	5月11日	1名
三重県社協 業種別研修老人Ⅰ「利用者・入所者のための接遇」	5月31日	1名
全盲老連 福祉講演会並びに総会及び施設長研修会	6月5日～6日	1名
三重県社協 「新任、中堅、指導的職員研修」	6月15日 他17回 9件	11名
伊賀市消防本部 甲種防火管理新規講習	6月29日 他1回	1名
近盲協 近畿地区盲老人福祉施設相談員連絡協議会研修会	6月17日 他1件	2名
三重県 平成29年度介護保険サービス事業者等集団指導	6月20日	3名
日盲社協 第65回全国盲人福祉施設大会	6月22日～23日	1名
三重県社協 業種別研修老人Ⅱ「摂食介助について」	7月3日	1名
全盲老連 第11回視覚障害者ケア専門技術認定講習会	8月1日～4日	1名
全老施協 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(石川大会)	8月1日～2日	2名

三重県社協 平成 29 年度喀痰吸引等研修	8 月 1 日 他 9 回	1 名
三重県社協 「中堅職員、チームリーダーコース」	9 月 7 日 他 5 件	3 名
三重県視覚障害者協会 あいふえすたイン鳥羽	10 月 5 日	2 名
三老施協 メンタルヘルスに関する研修会	10 月 6 日	1 名
三老施協 特養部会研修会 I	10 月 11 日	1 名
三重県 介護施設等における権利擁護推進員養成研修	10 月 13 日 他 2 回	1 名
いが移動送迎連絡会 運転協力者ステップアップ講習会	10 月 14 日	1 名
三老施協 権利擁護に関する研修会	10 月 20 日	1 名
全盲老連 生活相談員研修会	11 月 7 日～9 日	1 名
三重県 みえの食フォーラム	11 月 24 日	1 名
伊賀市立上野総合市民病院 第 1 回地域・医療連携公開講座「冬季に流行するウイルス疾患の感染対策」	11 月 30 日	1 名
三重県 介護認定審査会委員現任者研修	12 月 2 日	1 名
伊賀老施協 施設長会及び 21 世紀委員会合同研修会	12 月 6 日	4 名
三老施協 リーダーやリーダーになる人のための研修会	12 月 8 日	1 名
三重県社協 三重県介護支援専門員実務研修会	12 月 27 日他 18 回	1 名
三老施協 職能部会研修会	1 月 17 日	3 名
日盲社協 生活施設部会施設長会並びに職員研修会	2 月 2 日～3 日	1 名
三重県社協 課題別専門研修Ⅲ「人を活かして育てる」	2 月 6 日	1 名
三老施協 平成 30 年度介護報酬改定セミナー	2 月 15 日	1 名
三重県社協 「福祉施設の防犯体制強化について」	2 月 20 日	1 名
計	46 件	54 名

<特別養護老人ホーム第二梨ノ木園>

(1)利用者の状況

ア 入所利用者数

年間利用者数	1 日平均利用者数	稼働率	平均介護度
17,107 名	46.8 名	93.7%	4.2

イ 年齢構成

以上 未満	65 歳 65 歳	65 歳 70 歳	70 歳 75 歳	75 歳 80 歳	80 歳 85 歳	85 歳 90 歳	90 歳	計	平均年齢
男	0	0	0	3	3	1	1	8 名	82.3 歳
女	0	0	4	1	9	7	21	42 名	88.4 歳
計	0	0	4	4	12	8	22	50 名	87.4 歳

ウ ショートステイの利用状況

年間利用者数	1日平均利用者数	稼働率	平均介護度
6,169名	16.9名(定員20名)	84.5%	3.3

(2) 施設、設備の改善

- ・ ナースコール設備の更新及びハンディナースコール増設による安全対策を行なった。
- ・ 見守りケアシステムベッド4台を購入し、介護職員の負担軽減を図った。
- ・ 大型コンビオープンレンジを更新した。
- ・ 火災通報連動工事を行ない非常事態に備えた。

(3) 施設機能の強化と個別ケアの充実

- ・ 介護の重度化に対応した個別的援助を強化した。
- ・ 家族との協力関係の緊密化を図った。
- ・ 施設が目指す「看取り介護」を家族と共に実践することができた。
- ・ 福祉教育への協力と人材確保に向けた実習受け入れ及び地域交流を促進した。

(交流事業)

実施内容	実施月日	人員
「花まつり」にちなんで西蓮寺住職による法要と法話	4月10日	1名来園
黒住教上野中教会草引き奉仕	5月14日	16名来園
岡波看護専門学校3年生の施設実習	6月5日 ～6月9日 5日間	9名実習
岡波看護専門学校3年生の施設実習	6月12日 ～6月16日 5日間	8名実習
大和幸司様 歌謡ショー	6月22日	4名来園
曙保育園児との交流会	7月5日	42名来園
特別養護老人ホーム輪中の里(愛知県弥富市)施設見学	7月11日	4名来園
あけぼの学園高校3年生の施設実習	7月25日 ～7月27日 3日間	1名実習
伊賀白鳳高校ヒューマンサービス科2年生(Ⅰ期)の施設実習	8月22日 ～8月30日 7日間	3名実習
伊賀市上野仏教会の方々による盂蘭盆法要	8月25日	8名来園
伊賀市女性最高齢者への伊賀市長表敬訪問	9月6日	3名来園
三田コーラスグループによる音楽交流	9月24日	13名来園
伊賀白鳳高校ヒューマンサービス科2年生(Ⅱ期)の施設実習	10月18日 ～12月12日 9日間	3名実習
シルバー人材センターによる窓ふき奉仕	10月29日	6名来園

よっといで祭りへの作品展示（書道）	11月19日	3名参加
伊賀市更生保護女性の会上野支部による窓ふき奉仕	12月2日	23名来園
伊賀白鳳高校ヒューマンサービス科2年生（Ⅲ期）の施設実習	1月16日 ～3月2日 7日間	3名実習
伊賀市上野仏教会の方々による彼岸法要	3月30日	8名来園
計	18件	158名

(4) 職員の資質向上

老人福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会のほか、梨ノ木職員研修会や各種委員会、検討チームによる勉強会、施設外の研修会に積極的に参加した。

（委員会・検討チーム名）

- | | |
|------------|---------------|
| *虐待防止委員会 | *終末期ケア委員会 |
| *感染症対策委員会 | *リスクマネジメント委員会 |
| *褥瘡予防対策委員会 | *吸痰・胃ろう委員会 |
| *生活改善チーム | *環境改善検討チーム |

（施設外研修）

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
上野商工会議所 新規学卒就職者激励会&セミナー	4月18日 他1回	2名
伊賀市人権学習企業等連絡会 新規採用者セミナー	5月31日	2名
全盲老連 福祉講演会並びに総会及び施設長研修会	6月5日～6日	1名
三重県公安委員会 安全運転管理者講習	6月7日	1名
三重県社協 新任、中堅、指導的職員研修	6月15日 他13回 7件	8名
三重県 介護保険サービス事業者等集団指導	6月20日	1名
全盲老連 第36回新任ケアワーカー研修会	6月27日～30日	1名
三重県社協 業種別研修老人Ⅱ「摂食介助について」	7月3日	1名
いが移動送迎連絡会 運転協力者ステップアップ講習会	7月16日 他1件	1名
三重県社協 喀痰吸引等研修	8月1日 他9回	2名
全老施協 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(石川大会)	8月1日～2日	1名
三重県 「みえ福祉第三者評価」自己評価リーダー研修会	8月2日	1名
三重県介護支援専門員協会 施設ケアマネジメント研修会	8月19日	1名
三重県社協 中堅職員、チームリーダーコース	9月28日 他9回 5件	10名
三老施協 特養部会研修会Ⅰ	10月11日	1名
三重県 介護施設で働く看護職のための看護実務者研修	10月18日 他2回	1名
三老施協 権利擁護に関する研修会	10月20日	1名
伊賀保健所 ノロウイルス予防講習会	11月22日	1名
上野商工会議所 社会文化部会医療セミナー	11月24日	1名
三重県 介護認定審査会委員現任者研修	12月2日	1名

伊賀老施協 施設長会及び21世紀委員会合同研修会	12月6日	3名
三老施協 リーダーやこれからリーダーになる人のための研修会	12月8日	1名
日本介護福祉士会 介護職種の技能実習指導員講習会	12月10日	1名
三老施協 職能部会研修会	1月17日	1名
三老施協 介護報酬改定セミナー	2月15日	1名
全国経営協 高齢者福祉事業経営セミナー	2月19日	1名
三重県社協 法人担当者向け研修会「若者に選ばれる職場づくりのために」	3月2日	1名
計	38件	48名

<老人デイサービスセンターなしのき>

(1)利用者の状況

・利用者数

区分	利用登録者	年間開所日数	年間利用者数	1日当たり 平均利用者数
平日	67名	256日	5,778名	22.5名
日曜日	14名	51日	666名	13.1名

・利用内容別状況

開所日数	通所介護	総合事業 (現行相当サービス)	入浴サービス	給食サービス
307日	5,951名	493名	6,135名	6,397名

(2)年間行事実施状況

月別	内 容
4月	なしのき開所20周年記念行事、お花見
5月	語り部塾、母の日特集
6月	リズム体操伊賀上野来訪、父の日特集、いきいきサロン長田との交流会、子どもたちとの交流会(府中保育園)、岡波看護専門学校実習生受入
7月	語り部塾、七夕まつり、栄養講座(夏野菜と夏バテ防止)、大野木ゆうゆうクラブとの交流会
8月	小さな縁日、栄養講座、子どもたちとの交流会(長田保育園、花之木保育園)、職場体験3名受入
9月	語り部塾、敬老週間、職場体験受入(崇廣中学校)、いきいきサロン長田との交流会、健康相談
10月	栄養講座、子どもたちとの交流会(みどり保育園:2日間)、なしのき大運動会
11月	往古梨まつり、長田地区文化祭、語り部塾
12月	フラダンス(モハラカプア)、一筆啓上
1月	新春お祝い会
2月	いきいきサロン長田との交流会、長寿クイズ大会
3月	合同避難訓練、語り部塾、楽しくクッキング、栄養講座(果物について)、マンマミーダ来訪
月例	誕生会、防災訓練、ほっとクラブ

(3) 職員の資質向上

老人福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会のほか、梨ノ木職員研修会、定例勉強会や施設外の研修会に積極的に参加した。

自己評価表を記入することにより、業務に対しての目標や取り組む態度等に積極性を見出すことができた。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
三重県デイ協 総会・第1回研修会	5月21日	1名
三重県 介護保険サービス事業者等集団指導	6月20日	1名
三重県デイ協 第1回伊賀地区研修会	7月9日	1名
いが移動送迎連絡会 運転協力者ステップアップ講習会	7月16日	1名
三重県社協 中堅職員コース	9月28日	1名
三重県 三重県介護予防従事者研修会	11月10日	1名
三重県デイ協 総会・集合研修	3月25日	2名
計	7件	8名

(4) 地域交流

長田地区住民自治協議会の依頼により、本年度3回、休業日を利用して「いきいきサロン長田」を開催し、地域の方々との交流を図った。

開園記念行事として、利用者と共に種から育てた花の苗を朝屋地域資源保全会に配布した。

<在宅介護支援センターなしのき>

(1) 利用者数

区分	年間相談人数					相談実人数	在宅サービス 適用者実人数
	訪問相談	来園相談	電話相談	文書	計		
人数	3名	1名	13名	0名	17名	17名	14名

(2) 相談内容別件数

相談内容	介護保険サービス	経済的問題	合計
件数	17件	0件	17件

(3) ケアプラン作成実施状況

ケアプラン契約者数 87名

内 容	年間利用人数
通所介護(含：認知症対応型)	535名
短期入所生活介護	187名
短期入所療養介護(介護老人保健施設)	63名
通所リハビリテーション	88名
訪問介護	317名

訪問看護(リハビリテーションを含む)	41名
訪問入浴	3名
訪問リハビリテーション	7名
福祉用具貸付	465名
地域密着型通所介護	104名

(4) 各種懇談会等情報交換の実施状況

実施月日	内 容
平成29年 4月19日	大野木公民館において、介護予防教室(大野木ゆうゆうクラブ)
平成29年 6月17日	老人デイサービスセンターなしのきにおいて、転倒予防教室 (ふれあいいいききサロン長田)
平成30年 2月 7日	島ヶ原老人福祉センターにおいて、地域・家族介護教室

(5) 職員の資質向上

老人福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会、梨ノ木職員研修会及び施設外の研修会に積極的に参加した。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
伊賀市地域包括支援センター 事例検討会	6月14日	1名
三重県 平成29年度介護保険サービス事業者等集団指導	6月20日	1名
三重県介護支援専門員協会 伊賀支部研修会	9月2日	1名
伊賀市地域包括支援センター 研修会	10月13日	1名
三重県介護支援専門員協会 「介護給付適正化(ケアプラン点検)」研修	11月18日	1名
三重県社協 三重県介護支援専門員実務研修会現場実習に かかる現場実習説明会	1月15日	1名
伊賀市 平成30年度介護報酬改定に係る説明会(集団指導)	3月26日	1名
三重県介護支援専門員協会伊賀支部 「平成30年度介護保険制度改正について」	3月30日	1名
計	8件	8名

4 梨丘園(りきゅうえん)について

梨丘園では、利用者の人格が尊重され生きがいをもって生活が送れるよう、個々の心身の状況に応じた支援計画を作成しその実践に努めた。とりわけ、重複化・重度化している利用者の身体機能の維持向上を図るため、理学療法士や言語聴覚士等の専門職の指導による個別プログラムに基づく機能訓練を行なうことで、きめ細かい介護支援サービスを提供した。更に、梨ノ木園、第二梨ノ木園の利用者と合同での書道等の創作・文化活動及びリクエスト外出、社会活動に積極的に参加し、地域社会との交流を深めることで、生きがいと潤いのある生活の実現を図った。

大きく変動する福祉情勢の中で、QOL と自立心の向上を目指し、新たなサービス体系に基づく利用者の様々なニーズへの対応と、社会、経済状況等幅広い知識を吸収し、洞察力、先見力を発

揮することのできる福祉職員を育成するため、各種研修会に積極的に参加した。

併設する「指定特定相談支援事業所 梨丘」、「指定障害児相談支援事業所 ヴェルデ」では、児童から成人まで幅広いライフステージの方々の福祉に関する諸問題について、その相談に応じ、必要な情報提供やサービスの利用支援を行なうほか、権利擁護のための援助を行なった。また、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むために必要な障害福祉サービスが、適切かつ効率的に利用できるよう計画相談支援を提供した。

(1)利用者の状況

ア 年齢構成

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

以上 ～ 未満	25 歳 ～ 30 歳	30 歳 ～ 35 歳	35 歳 ～ 40 歳	40 歳 ～ 45 歳	45 歳 ～ 50 歳	50 歳 ～ 55 歳	55 歳 ～ 60 歳	60 歳 ～ 65 歳	65 歳 ～ 70 歳	70 歳 ～ ～	合計
男	0	0	2	1	1	0	3	1	4	1	13 名
女	0	0	0	0	0	0	1	3	2	1	7 名
計	0	0	2	1	1	0	4	4	6	2	20 名

[※定員 20 名]

性別	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	70 歳 7 か月	36 歳 9 か月	56.75 歳
女	74 歳 2 か月	58 歳 9 か月	64.74 歳
			60.74 歳

イ 身体障がい状況

・ 障害支援区分

区分 3	1 名
区分 4	1 名
区分 5	5 名
区分 6	13 名
合計	20 名
平均区分	5.5

・ 障がいの主因子

傷病名	男	女	合計
脳性麻痺	2	5	7 名
脳血管障害・脳挫傷・脳腫	7	0	7 名
頸髄損傷	1	0	1 名
その他	3	2	5 名
合計	13	7	20 名

(2)年間行事実施状況

月別	内 容
4 月	花まつり、トーク DE りきゅう、ハンドメイドりきゅう(ぎょうぎの皮のキッシュ・豆腐白玉のフルーツポンチ)
5 月	第 16 回開園記念日(カラオケ大会)、あっちこっちおでかけ隊(余野公園)
6 月	医事講話
7 月	栄養講座
8 月	サマープチフェスタ
9 月	友遊旅行(ぶどう狩り)
10 月	トーク DE りきゅう、栄養講座、あっちこっちおでかけ隊(上野天神祭)
11 月	第 17 回往古梨まつり、友遊旅行(ベルシティ)
12 月	年忘れ会(わろてんか〜笑いのバイキング)、第 12 回伊賀市障がい者スポーツ大会、大掃除

1月	新年祝賀会、初笑い会
2月	トークDEりきゅう、還暦お祝い会、節分、ハンドメイドりきゅう(パンケーキ・ミニハンバーガー)、リラクゼーション(足浴・スヌーズレン・ティータイム)
3月	栄養講座、あっちこっちおでかけ隊(いちご狩り)
月例	リクエスト外出、カフェりきゅう、防災訓練

* ボランティアとの協働による俳句クラブ、書道クラブ、ふれあいの時等の諸活動を推進した。

* グループ活動としてリハビリレクリエーション(散歩・ゲーム・体操・球技・創作活動等)を実施した。

(3) ショートステイの利用状況

年間利用者数	1日当たり 平均利用者数
489名	1.3名(定員2名)

(4) 安全対策の充実

共同防火管理協議会として、火災、震災、その他の災害予防及び人命の安全並びに被害の軽減及び防止のための対策会議を月1回開催し、対策等を検討した。

総合防災対策強化事業として、地域消防団との合同避難訓練を実施した。また、近い将来に発生が予想される巨大地震や、土砂災害、火災等を想定し、利用者を含めた避難訓練を毎月実施した。備蓄品等についても、更なる充実に努めた。

(5) 職員の資質向上

障がい者福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会及び梨ノ木職員研修会のほか、施設外の研修会に積極的に参加した。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
上野商工会議所 新規学卒就職者激励会&セミナー	4月18日 他1回	1名
京滋奈三重サブブロック QOL委員会	5月29日 他3件	4名
近障協 奈良三重支部サービス管理責任者連絡会	5月17日 他3件	4名
三重県障害者相談支援センター 障害福祉サービス事業所職員等基礎研修	5月21日	1名
伊賀市人権学習企業等連絡会 新規採用者セミナー	5月31日	1名
三重県社協 新任、中堅、指導的職員研修	6月15日 他15回 8件	10名
全盲老連 第37回新任ケアワーカー研修会	6月27日～30日	1名
全社協 第41回全国身体障害者施設協議会研究大会	7月6日～7日	1名
三重県 障害福祉サービス事業者等集団指導	7月18日	2名
日本てんかん協会 第39回てんかん基礎講座	8月1日～2日	1名
三重県社協 喀痰吸引等研修	8月1日 他9回	1名
三老施協 防犯対策強化研修会	9月13日	1名
近障協 第29回近障協研究大会(京都大会)	11月30日	2名

伊賀圏域障がい福祉連絡協議会 暮らし部会「ありのままに生きる～一人ひとりの暮らしに寄り添う～」	12月8日	1名
三重県 給食施設管理者研修会	1月10日	1名
ふっくりあ 平成30年度障がい福祉サービス等報酬改定研修	1月27日	1名
近障協 施設長研修会	2月15日～16日	1名
三重身障協 障がい福祉セミナー	2月27日	1名
三重県 障害福祉サービス等事業者説明会	3月23日	2名
計	32件	37名

(6) 施設・設備の改善

- ・居室1部屋の空調設備を更新した。
- ・火災通報連動工事を行ない非常事態に備えた。
- ・ラウンジの大型テレビを更新した。
- ・スタッフルームの改修工事を行なった。

《 指定特定相談支援事業所梨丘 》

(1) 利用者数(年間相談件数)

区分	訪問相談	来所相談	同行	電話相談	メール相談	個別支援 会議	関係機関
件数	340件	23件	28件	251件	電子メール 10件 郵送 31件	21件 サービス 担当者会議 79件	675件

・相談内容別件数

相談内容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,315件
健康・医療に関する支援	214件
不安の解消・情緒安定に関する支援	86件
保育・教育に関する支援	1件
家族関係・人間関係に関する支援	35件
家計・経済に関する支援	49件
生活技術に関する支援	45件
就労に関する支援	43件
社会参加・余暇活動に関する支援	14件
権利擁護に関する支援	31件
その他	74件
計	1,907件

・障がい別

障がい状況	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害
人数	63名	4名	29名	5名	0名

障がい状況	高次脳機能障害	その他	実人数
人数	3名	0名	82名

(2) 相談支援計画書作成実施状況等

ア 本年度契約者数	83名
イ 利用支援計画作成数	79件
ウ 継続支援計画作成数	82件

(3) 職員の資質向上

障がい者福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修及び梨ノ木職員研修会のほか、施設外の研修会に積極的に参加した。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
業種別研修障害 I 「障害児者の制度(経済)保障と支援のあり方について学ぶ」	5月18日	1名
伊賀圏域障がい福祉連絡会 地域生活支援拠点プロジェクト主催研修会	9月20日	1名
三重県社協 指導的職員研修	10月24日 他1日	1名
伊賀圏域障がい福祉連絡協議会 くらし部会「ありのままに生きる～一人ひとりのくらしに寄り添う～」	12月8日	1名
三重県障害者相談支援センター 知的障がい者福祉専門研修会	12月22日	1名
計	5件	5名

≪ 指定障害児相談支援事業所ヴェルデ ≫

(1) 利用者数(年間相談件数)

区分	訪問相談	来所相談	同行	電話相談	メール相談	個別支援 会議	関係機関
件数	72件	3件	0件	14件	電子メール 0件 郵 送 1件	1件 サービス 担当者会議 24件	29件

・相談内容別件数

相談内容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	214件
障がいや病状の理解に関する支援	1件
保育・教育に関する支援	6件
計	221件

・障がい別

障がい状況	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害
人数	3名	1名	15名	0名	2名

障がい状況	高次脳機能障害	その他	実人数
人数	0名	4名	25名

(2) 相談支援計画書作成実施状況等

ア 本年度契約者数	21名
イ 利用支援計画作成数	21件
ウ 継続支援計画作成数	38件

(3) 職員の資質向上

障がい者福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修及び梨ノ木職員研修会に参加した。

5 上野点字図書館について

盲養護老人ホーム梨ノ木園を会場に日常生活用具展示体験会を開催し、地域で暮らす「見えない見えにくい方」とその家族への情報提供と、広く一般市民への啓発活動を行なった。また、録音図書の紹介資料を作成し、当館の施設案内とともに伊賀市内の図書館等へ備え付けることにより、図書の利用促進と市民への点字図書館業務の周知に努めた。さらに、点字を広く知ってもらい、視覚障がい者への理解を促進するために、名刺に点字印刷を行なう取り組みを開始した。

(1) 図書の整備等

館内書庫及び旧曙保育園園舎内の配架点字図書の総点検作業を行ない、蔵書の整備を進めた。また、サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）と連動した Web 図書館システムを活用することにより、所蔵資料のより精度の高い書誌管理に努めた。

ア 蔵書の状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区分	タイトル数	分冊数 (分巻数)
点字図書	4,940	15,582 冊
録音図書	10,964	22,878 巻

イ 資料の利用状況

資料の形態	年間延べ貸出利用数	データダウンロード利用数
点字	1,018 人	1,017 件
録音	9,754 人	5,647 件

ウ 機関誌の発行

- ・「図書館通信」（墨点字版・録音版・大活字版） 隔月発刊(偶数月) 発行部数 163 部
主な送付先 個人利用者、視覚障害者情報提供施設、公共図書館等

エ 逐次刊行物の製作、発行

- ・「声の中日春秋」(中日新聞コラム／録音版) 2 週間毎に発刊 年 26 回

- ・「広報いが市」(伊賀市/点字版・録音版) 年 23 回
- ・「伊賀市議会だより」(伊賀市/録音版) 年 4 回
- ・「あいしあおう」(伊賀市社会福祉協議会/録音版) 年 11 回
- ・「墨字図書案内」(録音版) 隔月発刊(奇数月)

オ 啓発業務

<日常生活用具展示体験会の開催>

視覚障がい者の生活を支援するために便利な用具等を展示 4月22日 来場者 41名

<点字名刺の作成>

名刺への点字印刷 7件

<機器等の貸出>

録音図書再生機の貸出 19台

点字器の貸出

青山小学校 60器 9月14日～9月27日
 玉滝小学校 5器 9月22日～9月29日
 神戸小学校 12器 10月3日～10月27日

<点字教室及び視覚障がい者福祉啓発のための講師派遣>

団体名	実施月日	児童数
青山小学校4年生	9月14日	59名
上野西小学校4年生	9月20日	122名
神戸小学校3・4年生	10月3日	12名
新居小学校4年生	10月23日	27名
島ヶ原小学校4年生	11月14日	8名

<施設見学受入>

団体名	実施月日	人数
上野西小学校4年生	9月15日	127名

カ 法人内施設との連携業務

- ・かしの木ひろば「ときめきニュース」の点字版製作 年11回(54頁)
- ・梨ノ木園 給食献立表等の点字印刷 年60回(715頁)
- ・梨ノ木園 利用者への対面音訳 年24回(175名)
- ・梨ノ木園 多目的室への点字図書整備 36タイトル82冊

(2) ボランティアの養成状況等

点訳及び音訳ボランティアの養成を図るために講習会を実施し、多様な墨字資料に対応できる人材の確保に努めた。

ア ボランティア数

グループ名	会員数	計
上野点訳奉仕グループ あい	8名	点訳ボランティア数 19名
名張点訳グループ あかり	11名	
上野音訳グループ しのび	17名	音訳ボランティア数 33名
名張音訳グループ こだま	16名	

イ 養成業務

<講習会>

- ・点訳ボランティア養成アフター講習会及び点訳実習（通信添削）

講習会	5回	延べ受講者数	35名
通信添削	77回		
- ・音訳ボランティア養成講習会 12回 延べ受講者数 133名
- ・音訳ボランティア養成デイジー編集講習会 1回 延べ受講者数 3名
- ・点訳ボランティア定例会 13回 延べ出席者数 89名
- ・音訳ボランティア定例会 22回 延べ出席者数 267名
- ・点訳・音訳ボランティア合同研修会 参加者 29名
 実施日： 11月8日(水)
 研修内容：「点字毎日」編集長・三角真理氏講演会

(3) 委託事業その他視覚障がい者関連業務

ア 三重県

- ・第48回衆議院議員総選挙及び第24回最高裁判所裁判官国民審査に係る「候補者名簿」の点字版製作、及び「投票用紙用点字シール」の製作

イ 伊賀市

- ・伊賀市視覚障害者福祉会等資料の点字版製作
- ・伊賀市障がい者相談員連絡会開催に係る会議資料等の点字版製作
- ・伊賀市障がい者スポーツ大会プログラムの点字版製作
- ・伊賀市障がい者福祉大会プログラムの点字版製作
- ・三重県障害者相談員等研修会開催案内の点字版製作
- ・「広報いが市」点字版・録音版製作及び発送、ホームページ掲載用MP3データの提供
- ・「伊賀市議会だより」録音版製作及び発送
- ・点訳、音訳奉仕員養成事業（点訳、音訳ボランティア養成講習会の開催等）

ウ その他

- ・町長選挙及び町議会議員選挙に係る「候補者名簿」の点字版製作（大台町）

(4) 職員の研修状況

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
全視情協新任管理者研修会	6月15日～16日	1名
全視情協通常総会並びに施設・団体長研修会	6月16日	1名
中部ブロック館長会議	7月4日～5日	1名
サピエ研修会	7月27日～28日	1名
第47回「朗読録音奉仕者感謝の集い」	9月14日	1名
第43回全国視覚障害者情報提供施設大会	10月19日～20日	2名
第47回名張市社会福祉大会 民生委員制度創設100周年大会	10月21日	1名
中部ブロック音訳・サービス担当職員研修会	11月30日 ～12月1日	2名
合 計	8件	10名

6 伊賀市盲人ホームについて

盲人ホームの設置目的は、三療師(あん摩マッサージ師、はり師、灸師)資格を有する視覚障が

い者に自身での開業又は就業までの期間において、施設の利用を認めるとともに技術指導を行ない、利用者の自立更生を図ることである。三療師を志す視覚障がい者は少なくなっているが、視覚に障がいのある方々にとって就業の道は狭く、その機会も少ない現状から見ると、三療師資格を有することの意義や、現在三重県で唯一の研修施設である伊賀市盲人ホームの存在意義は大きく、本年度も次のような事業を行なった。

- (1) 三療師の資格は国家資格であるが、昨今では無資格あるいは短期の講習で付与されるような類似の資格による施療者が急増している。それに伴った未熟な施療による健康被害も多く発生しているため、あん摩やマッサージ治療について正しく認識してもらえるよう、広報に努めた。
- (2) 地域の方々への三療の正しい知識の普及と盲人ホームの広報を目的として、針療師の資格を持つ健康体操指導者による健康講座を定期的に継続して開催した。
- (3) 老人デイサービスセンターなしのきと協働し、盲人ホームの施療師が定期的に同施設を訪問し、利用者の方々にマッサージ等の施療をしながら交流を図った。
- (4) 盲養護老人ホーム梨ノ木園及び伊賀市視覚障害者福祉会と、様々な行事を通して交流を行ない連携を深めるとともに、地域の視覚障がい者の拠点としての施設運営に努めた。

7 かしの木ひろばについて

障害者自立支援法が施行された平成 18 年(2006)以降は、生活介護事業所として事業を進め、平成 23 年(2011)には働く意欲のある方たちを支援するための就労継続支援 B 型事業を設置した多機能型事業所として、障がい者の社会参加と生きがいのある生活の実現に向けて事業を展開している。また、ホームヘルプサービス事業では、障がい児者・要介護者へのサービス提供を行ない、通所と訪問の連携により在宅障がい者が安定的な生活を過ごせるように支援することができた。本年度も、利用者の様々なニーズに対応するため、障がい者団体、関係機関、地域住民、家族等の連携を密にすると共に、職員一人ひとりの専門性や技術の向上に努めた。なお、施設及び利用者等の安全対策を図るため、寺町 3 施設(かしの木ひろば、上野点字図書館、伊賀市盲人ホーム)が共同して、防災訓練を毎月実施した。

(1) 多機能型通所事業

(生活介護事業 定員 20 名)

障害支援区分 3 から 6(50 歳以上は区分 2 以上)の方を対象として、個々の心身の状況に応じた個別支援計画に基づき、介護サービスの提供と、創作的活動や軽作業及び感覚統合的運動等の日中活動を延べ 4,595 名に行なった。また、昨年に引き続き難病の利用者を受け入れ、これまで以上に医療や他機関との連携を深めた。加えて、当事業所が伊賀市より受託している日中一時支援事業において、特別支援学校伊賀つばさ学園高等部の生徒を放課後や長期休暇中に受け入れた。また、つばさ学園や特別支援学校かがやき学園草の実分校より実習生を受け入れた。併せて、地域や他事業所の行事にも積極的に参加する等、利用者の生活の質の向上に向けた支援を行なった。

(就労継続支援 B 型事業 定員 10 名)

本年度の利用者は一日平均 4.4 名で、百円均一商品の組み立て・梱包と自動車部品の加工や、新たに紙切り作業の依頼を受けた。お墓参り代行業務は 16 件の契約があり、90 回代行業務を

実施した。また利用者1名が一般就労への実習を重ね、午前中週4日、就労することができた。

ア 利用者の状況

・年齢構成

サービス \ 年齢	19歳	20歳 29歳	30歳 39歳	40歳 49歳	50歳 59歳	60歳	合計
生活介護	0	8	9	5	3	5	30名
就労支援	0	0	1	0	1	3	5名
合計	0	8	10	5	4	8	35名

・障がい別内訳

障がい名	男	女	合計
脳性マヒ	2(2)	2(1)	4(3)名
脊損、頸損	1	0	1名
脳血管障害	2	0	2名
脳挫傷(高次脳機能障害)	0	1	1名
視覚・聴覚障害(重複)	1	0	1名
知的障害	10	5	15名
その他	3(2)	8(5)	13(8)名
合計	19(4)	16(7)	35(11)名

※ ()は、知的障害との重複数

・障害支援区分

		区分なし	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
生活介護	身障	0	2	2	0	2	12	18名
	知的	0	2	2	5	3	0	12名
就労支援	身障	1	1	0	0	0	0	2名
	知的	1	1	1	0	0	0	3名
合計	合計	2	6	5	5	5	12	35名

※ 生活介護事業利用者30名、就労B型事業利用者5名の支援区分

イ 年間利用状況

開設日数		利用者数			利用平均			送迎サービス		
生活介護	就労 継続B	生活介護	就労 継続B	日中 一時	生活介護	就労 継続B	日中-時	生活介護	就労 継続B	日中 一時
261	257	4,594	1,131	181	17.60	4.4	0.69	6,338	1,066	108

ウ 作業賃金の状況

	支払工賃	総作業時間	1時間の賃金
年間	743,419円	6,482時間	
1か月の平均	61,951円	540時間	114円

エ 外部講師による余暇活動等

①余暇活動の実施状況	趣味の会	10回
	お茶の会	12回
②機能訓練等の実施状況	音楽療法	12回

オ 年間行事実施状況

月別	内 容
4月	花見
5月	育成園まつり
7月	ひまわりコンサート
8月	映画
10月	上野天神祭、バス旅行（大阪エキスポシティ）
11月	障がい者スポーツ大会
12月	クリスマス会、起震車体験
1月	新年会、初詣
2月	節分（豆まき）
3月	花見
月例	散歩、My 外出

(2) ホームヘルプサービス事業

障害者総合支援法や介護保険利用者の「これからも地域で暮らしたい」と望まれる生活の一部を担うため、身体介護（通院介助）・家事(生活)支援、視覚障がい者の方の同行援護等を福祉有償運送との一元利用で有効な支援を実施した。また、医療観察法の下、司法・医療・福祉が連携を取りながら支援を行ない、現在約 100 世帯を訪問している。

ア. 利用者の状況

・年齢構成

年齢	19歳	20歳 29歳	30歳 39歳	40歳 49歳	50歳 59歳	60歳 69歳	70歳 79歳	80歳 89歳	90歳	合計
障害者支援	0	12	16	5	9	18	4	10	0	74名
介護保険	0	0	0	0	0	6	5	8	1	20名
合計	0	12	16	5	9	24	9	18	1	94名

・障がい別・介護認定別の状況

障がい名・介護認定名	男	女	合計
身体障害者手帳	22	22	44名
療育手帳	14	17	31名
精神福祉手帳	2	4	6名
介護保険(要介護)	14	15	29名
(要支援)	1	1	2名
合計	53	59	112名

※重複あり

イ. 年間事業状況

居宅介護事業

	サービス内容	登録数	訪問回数	訪問時間
利 用 者	身体介護	27	3,194	2,833.5
	家事援助	10	386	301.0
	通院(身体介護有)	17	327	377.5
	通院(身体介護無)	5	52	40.5
合 計		73	3,959	3,552.5

行動援護・同行援護

	サービス内容	登録数	訪問回数	訪問時間
利 用 者	同行援護(身体介護有)	16	421	1,064.5
	同行援護(身体介護無)	3	29	69.5
合 計		19	450	1,134.0

地域生活支援事業

	サービス内容	登録数	訪問回数	訪問時間
利 用 者	移動支援(身体介護有)	24	816	1,317.5
	移動支援(身体介護無)	8	251	404.5
合 計		32	1,060	1722.0

介護保険

	サービス内容	登録数	訪問回数	訪問時間
利 用 者	身体介護	10	1,132	805.0
	生活援助	6	149	145.5
	身体生活	7	416	554.0
	乗降介助	9	562	
	総合事業 現行	2	30	30.0
	総合事業 緩和	3	118	118.0
合 計		48	2,407	1,652.5

※ 重複支援あり

ウ. 福祉有償運送利用状況

利 用 者 の 内 訳					合 計
身体障がい者	要介護認定者	要支援認定者	精神障がい者	知的障がい者	
1,509名	645名	128名	33名	1,146名	3,461名

(3) 地域交流事業

当施設を活用して、障がい者の俳句の会、身体障がい者団体による会議や研修等が定期的に行なわれた。また、福祉教育への協力と地域との交流を促進するために、岡波看護専門学校生の在宅看護実習、伊賀白鳳高校ヒューマンサービス科の介護福祉士を目指す生徒の実習（通所・ヘルパー共）、夏休みの小学生の福祉体験等を積極的に受け入れた。更に、寺町いきいきサロンの皆さんと交流を深め、プランターの花植えや年末の窓拭き等を共に行なった。

<会議、研修会等の開催状況>

内 容	回数
伊賀市聴覚障害者協会例会等	10回
伊賀市視覚障害者福祉会総会、役員会	5回
手話サークル	10回
障がい者の俳句の会	12回

寺町いきいきサロン	10回
夏休み福祉体験	4回
福祉実習（岡波看護専門学校・白鳳高校）	21回
計	55回

(4) 施設整備

設置後 21 年が経過した奉仕活動室の室内用空調機器が故障したため、取替え工事を施工した。

(5) 職員の資質向上

社会福祉法人職員としての意識向上を図るため、法人内で実施する各種研修会に参加した。また、障がい者福祉の制度、知識、技術、専門性の錬磨に努めるため、外部講師による研修や、施設外研修にも積極的に参加し、職員の幅広い資質向上に努めた。更に、福祉有償運送や利用者送迎運転手業務に備え、ステップアップ研修や運転実施研修を全職員で行なうことで、安全運転の意識を高めた。

8 梨ノ木診療所について

梨ノ木診療所は、診察時間の制約がある中、従前より予防医学の観点から、健康診断・生活習慣病検診やインフルエンザワクチン及び肺炎球菌ワクチン接種等を実施することで、地域医療及び施設利用者等の健康管理に努めた。

通所リハビリテーション事業では、在宅機能を保持できるよう個々の利用者に応じたりハビリ訓練をマンツーマンで提供するリハビリテーションを実施した。

平成 24 年度より地域貢献事業として、「なしのき健康講座」を開催し、地域の皆様に健康意識の向上及び身体機能の保持を目的とし、理学療法士の指導のもと健康維持推進に努めた。更に地域の皆様の憩いの場としての役割も担うことができた。

隣接する施設(梨ノ木園、第二梨ノ木園、梨丘園等)を利用する方々には、日々の健康管理のために回診等を定期的に行ない、様々な医療相談に対応した。また、施設利用者の終末期においては、ご家族・施設職員と共に看取り医療を行なった。

(1) 予防医療の充実

ワクチン接種	907 名
一般健康診断	365 名

(2) 地域貢献事業

なしのき健康講座	40 回	年間参加者数	781 名
----------	------	--------	-------

(3) 職員の資質向上

職員としての資質向上を図るため、法人内研修及び梨ノ木職員研修会に参加した。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
伊賀・名賀医師会地区社会保険集団指導	7 月 20 日	2 名
東海北陸厚生局 診療報酬改定時集団指導(医科)	3 月 21 日	1 名
計	2 件	3 名